

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和5年7月14日

胎内市議会議長

小野 徳重 様

(報告者) 議会運営委員会委員長 薄田 智

議会運営委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修日時	自 令和5年7月10日 至 令和5年7月11日 1泊2日 (2日間)	調査・研修場所	石川県加賀市議会
調査・研修事項	石川県加賀市議会 「議会改革の取り組みについて行政視察」		
調査・研修出席者(参加者)	議会運営委員会: 薄田智(委員長)、渡辺栄六(副委員長)、丸山孝博、 天木義人、渡辺秀敏、森本将司 小野徳重議長、八幡元弘副議長、佐藤一孝事務局長		
相手方(対応者)	加賀市議会: 辰川志郎副議長、東野真樹市議、荒谷啓一市議 議会事務局: 山田圭一事務局長、奥村外与彦次長、東藤一也主査		

調査の結果または概要

○石川県加賀市議会(7月10日(月)13:45～15:45)

加賀市議会は平成23年4月に議会基本条例を施行し、開かれた議会、市民が参加する議会、政策提案する議会を目指し取り組みを始め、本会議及び委員会のインターネット中継、議会報告会、女性会議、子ども議会の実施、議会提案の政策条例制定、金沢大学法科大学院との連携協定、PPDCAサイクルの導入、議会だよりモニターの設置等で平成26年度議会改革ランキングで全国4位になり、その後徐々に低迷し、復活を期して、SNSの活用による情報発信や議会のホームページ刷新、議会だよりの改善、市民参加型のグループトーク方式、オンラインによる市民との意見交換会、さらに、常任委員会や特別委員会がそれぞれのテーマを掲げ積極的な活動を展開し、議会提案による条例制定まで数多く実施して政策提案する議会へ変貌した結果、令和4年の議会改革ランキングで再び4位に返り咲いた。今回の視察において当市議会の更なる議会改革に繋げ、開かれた議会を目指す。

調査の所見・感想

○石川県加賀市議会

全国にある1,788議会の中で議会改革度ランキング4位の議会とはどんな議会なのか興味津々で加賀市議会を訪問し、直接議会改革のご説明を受け、ご教示頂いた。

まずは驚いたのは、議員はほぼ毎日朝から晩まで市庁舎で活動を行っていること。常任委員会では年度毎にテーマを掲げ、議論を尽くしながら政策提言を行い、時には議会による条例制定まで結び付けていること。

金沢大学法科大学院との連携についても法的知見を有する大学関係者と市政の意思決定機関の議会が連携協力することで市が抱える政策課題について大局的に解決し市民にも理解を頂き、地域発展に繋げていることは大いに参考になった。

最後に加賀市議会の議会改革に取り組む姿勢は常に積極的であり、PPDCAサイクルを繰り返しながら進めている。常に、議員自らにプレッシャーをかけながら議会が責任をもって解決していく姿には、今後の胎内市議会でも大いに参考にしたい。